



四阿山・根子岳①

2017 年 8 月 4 日（金）～5 日（土）

Report by 堀

先週から長寿台風 5 号が南海上をうろついており、2 週続けての雨登山は嫌なので最終判断を先送りしていましたが、どうやら直撃コースが外れそうになり熊本さんとも相談の上、予定通り実施することにしました。

四阿山には、2003 年 8 月に熊本さん、高橋（文）さん、川島さんが日帰り登山をしており、14 年ぶりとなります。いくつかプランとコースを検討しましたが、熊本さんのコース・行程案でいくこととしました。

参加者は、吉松さん、熊本さん、池戸さん、堀の 4 名。

8/4（金）



ホテルの送迎バスが上田駅発

14:30 と普段の山行に比べ大変ユックリなので・・・

熊本さんは早い列車で来て、小諸城址（懐古園）、上田城などを散策。

“小諸なる古城のほとり、雲白く遊子悲しむ” 島崎藤村ゆかりの地





池戸さんも1本前の列車で来て上田城を見学。



13:40 上田着のあさま 609 号は、指定席は満席、自由席も東京駅でほぼ満席だった。やはり夏休みの時期だと実感。軽井沢でかなりの人が降り、上田でも結構降りる人がいる。



暖簾の案内表示とは、凝ってますね。



時間前に全員集合。14:30 発の送迎バスまで、コーヒーでもと思ったが、唯一あった喫茶店タリーズは空席がなく、自販機コーナーで時間つぶし。



15:05 あずまや高原ホテルに到着。変な奴がお出迎え。(ここは元々クマが暮らすところですよ) だと！



チェックインを済ませて明日のためにコースの下調べ。牧場の入り口まで往復。



宿に戻って、一風呂浴びてさっそく乾杯！

そして純米酒「真田三代」歩いていないし、山小屋じゃあないし、やや盛り上がりには欠けるような…



ここの支配人？は外国人（予約の時、どうもうまく話が通じなかった。名前を聞いたら「瀬名です」と言っていたので、日本人かと思っていたら、どうもセナさんらしい）

飯を食ったら寝るだけだ。四隅に布団を敷き、真ん中にできた通路は、誰が名付けたか“小野寺街道”（小野寺さんは、お仕事でドタキャンでした）



8/5 (土)

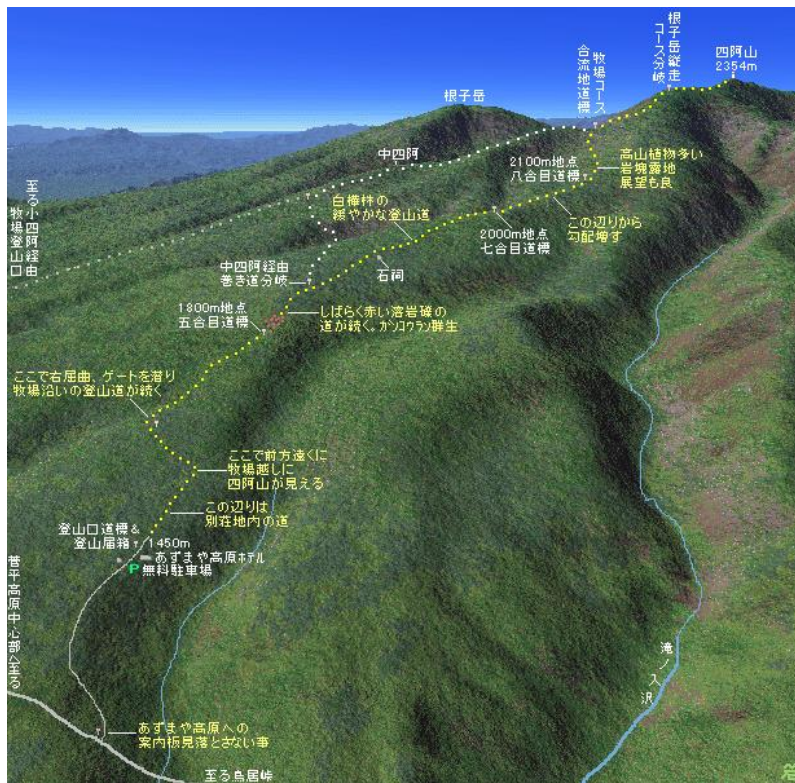


4 時起床。一風呂浴びて各自持参の朝食を摂る。

早立ちなので、前夜に宿の精算をしておいたのに酒代が未精算だとのこと。領収書一枚書くのに 5 分以上もかかる。（客対応の悪さにあきれた）



5:00 ホテル前で出発写真撮影。浅間山には噴煙が立ち昇っていた。ホテルの対応はダメだが、お天気は予想以上の上天気だ。



あずまや高原ホテルから四阿山への登りはほぼ直登コースである。



POST に登山届を出し、出発！
四阿山への方角指示版によると、ここは 1470m、四阿山（2354m）山頂まで約 900m の登りだ。
しかしこんな所に消火栓とは不思議？

歩き出すと直ぐに道端にいろいろな花が咲いている。期待が膨らむ。



キバナヤマオダマキ



アカツメクサ



ウツボグサ



ヤマホタルブクロ



ツルラン



マルバダケブキ



野生の桔梗を見ることは稀が、
これはまた特大の桔梗、感動も
のだ。



ヨツバヒヨドリ



オトギリソウ



ハクサンフウロ



オオバギボシ



コオニユリ



ツリガネニンジン



美味しそうな牛が道を塞いでいる。
この牛は 100g 幾らだろう？
「ふるさと納税」以来どうも邪念が・・・



森林限界が近づく



7:00 石祠を通過



たなびく雲の上には北アルプス。穂高～大キレット～槍ヶ岳の山なみ

さらには鹿島槍～五竜の後立山連峰

画面の左の方には焼岳の噴煙らしきものが三筋立ち昇っていた。“火山活動が活発になっているのではないか”と熊本さんと話す。この後 8 月 10 日に焼岳の火山情報（臨時）が出て納得！

八合目、森林限界を超え、日も昇り暑くなってくる。暑さの苦手な池戸さんはお疲れ気味だ。



しかし、このあたりの花々はなんと可憐で美しいことか！



マツムシソウ



ソバナ



ミネウスユキソウ



四阿山の山頂まであと少しだ。



山頂直前には木製の階段。



8:50 四阿山（2354m）頂上、
こちらは長野側の山頂です。
標識は塀の上に小さく白い柱
があるだけでした。



更に数分進むと、
群馬側の山頂で、
立派な標識があ
る。（合成写真）





再び長野側山頂にもどると、
間近に根子岳(2207m)が見える。
ここ、四阿山より低いし、尾根
伝いに楽に行けそうだが…



9:30 四阿山から根子岳への分岐に戻ったところで、池戸さんは「根子岳を諦めて中四阿経由で下山したい」とのことで、熊本さんが同行してくれることになる。

ここで二組に分かれ、吉松・堀の二人は根子岳を目指した。

中四阿ルートは熊本さんをお願いすることとして、以後は根子岳ルートの報告です。

分岐から四阿山と根子岳の鞍部まで40分の下りが続いた。

森林の中の急な下りで、木の根が非常に多い。根子岳とは“根っ子だらけ”のことか。

もしも雨だったら苦勞するコースだ。





ようやく樹林を抜けて、四阿山と根子岳の鞍部に出る。
吉松さんの後の山は四阿山。



前方は根子岳。ほとんど木のな
いのびやかな草原である。



タカネニガナ



トモエシオガマ



コケモモの実



山頂の手前の斜面はお花畑にな
っている。



タムラソウだろうか？



草丈 10 cmほどなのに 5 cm位あ
りそうな花をつけたホタルブ
クロ



来た道を振り返れば、四阿山に雲がかかり始めている。



11:05 根子岳山頂に到着
山頂から見える山名を記した表示板が設置されているが、中心には猫岳とある。



持参のおにぎりなどで昼食、そして記念写真。
11:30 下山開始。



20 分ほど下るとヤナギランの群落が。



“高山蝶保護パトロール実施中”と書かれた看板が出てきたところで、熊本さんから電話が入る。まだ、管理事務所の手前だとのこと。ではダボスバス停へ先行することにしようと思き始めたら、左上の売店の前から熊本さんが呼びかけてきた。これで無事に熊本組と合流となった。



“禰固岳八合目”と書かれた北信畜産組合奉納の石碑。根子岳、猫岳、禰固岳3種類の表記に出会った。「ネコダケ」という音は同じだ。

さらに下っていくと、菅平牧場が現れ、牧場管理事務所らしい建物も見える。熊本さん達はもう管理事務所を通過したのだろうか？



Part①（完）